

## 腰原貞利

今年の卒業40周年目の追悼登山には、大久保さんとその仲間の4人で参加しました。前日の夜の西穂山荘では久しぶりに懐かしい顔に出会い、40年前にタイムスリップしたような気持ちになり、楽しい一時を過ごすことができました。

当日は朝早めに出発して、大久保さんと西穂まで登ってきましたが、あいにくの雨で周りはまったく見えなかったのは残念でした。独標まで戻ってきたら、当日出発組の方々が汗を流しならざくざくと登ってこられました。皆さんと再会した時は何故か胸が熱くなりました。

独標頂上と中腹での追悼式は雨の中で行われましたが、参加した皆さんの思いが伝わってくる追悼式でした。40年毎年のように登ってこられた小林先生のお言葉は重みがありました。

一昨年も8月1日より数日前でしたが、大久保さん、今井さん、立石さんと追悼登山をしました。今年は念願の8月1日に、山上での追悼式に参加することができ、一つの区切りの年でもあり、思い切って来て良かったと思いました。

定年も直ぐそこまで来ていますが、これからは時間が余るようになります。体力が許す限り時々は登ろうと思っています。

今回の企画を中心となって進めて頂いた鈴岡さん、逢沢さんには本当にご苦勞様と感謝申しあげる次第です。

## 嶋田健市

「懐かしい仲間に出会う為に西穂独標に登る」、そんな一念を抱いて年齢や最近の生活環境に合わせて自分なりに体調を整え8月1日の登山にそなえました。そして登山当日、西穂独標へ登りながら一生懸命11人の仲間の名前や思い出を思い出しながら登りました。しかしどうしても11人全員の名前や思い出が出てきませんでした。次回の登山には必ず11人全員に出会う為に懐かしい思い出を思い出しながら再度追悼登山に参加したいと考えております。

